

五分館だより

第11号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日

H2.12.1現在
戸数 95戸
人口 426人

各グループ積極的に参加 盛り上がった堀越文化祭

11月3日区内のグループ活動の発表をメインに堀越文化祭が盛大に行なわれた。この日は子供からお年寄りまで多くの区民が集まり、二時間余りの楽しい一時を過ごした。

舞台発表は、わかば会の踊り、ちどり会の大正琴、吟道会、民謡クラブの皆さんが練習の成果を十分発揮したすばらしいものでした。

個人参加では、西元寿さんによる弓道、カラオケのど自慢とそれぞれの演出で心なごむものとなりました。

この他特別発表として、親和会による『わが家の一品料理』と題して試食会を開いてくれました。

また展示の部でも翠会の人達の書、アイリスクラブ、

あじさいクラブの人達の華やかな生け花、個人出品として掛け軸、手芸など皆さんの力作も展示され文化祭を引き立てました。

この様に堀越のグループの人達が積極的に参加し大いに盛り上がった文化祭となりました。

心臓は おどりっぱなし

千鳥会

私達千鳥会は、この春二

たなあ……と一同大爆笑。

男の方でも入りたい方がいる様です。どなたでも結構です。お待ちしていますとの事。皆さん本当にふれあいを楽しんでおられる様でした。

グループ訪問

ふれあいの場を求めて

翠(みどりかい)会

堀越文化祭で額に入った色紙に目を止められた方は多いと思います。

この書道の会が翠会です。何かしたい、ふれあいがほしいとの希望で発足したが、平成元年五月。西部を中心とする婦人九名で、河野の松村信子先生の指導の元、月二回の練習に励んでいます。

筆は精神統一しなければ書けないので、皆真剣そのもの。先生の「皆さん熱心

ですヨ。」との評通り、欠席者がほとんどなく、夜十時過ぎる事もしばしば。二ヶ月練習して一つを仕上げ

るわけですが、一つの字を書いても同じ様には書けないし、書けば書く程、習字とはむずかしく思えて来るそうです。

文化祭の後、良かったヨと電話をもらったと喜んでおられました。ただステージで発表するのと違い、お花がなかったのが残念だっ



プロも顔負け



名曲を聴かせる大正琴

あって、うれしく感謝致しました。今度こそはうまくやれます様に頑張っていきたいと思います。

武田 フキ子

活気に満ちた 文化祭

周りの木々が秋色を増した文化の日に、区をあげて文化祭を楽しみました。

親和会は、二度目の参加ですが、私自身文化祭の催しを見物したのは初めてでした。お花、お習字、踊り、民謡、詩吟に弓等々、あんなに内容が豊富で充実し、活気に満ちているのにはびっくり致しました。

文化祭という発表の場があるという事は自分の腕を磨くのにとてもいい事だと思ひ、又、趣味があるという事は、仕事にも生活にも張りが出ると思ひました。

親和会は、お料理を一人一品づつ作り、皆さんに召し上がって頂き、レパートリーが少しでも広がればと作り方をコピーして持ち帰ってもらいました。

私達も、子供の手が離れ自分の時間が持てるようになったら、何か始めたいと思ひました。

親和会会長 菅沼真紀

黒谷箋

月日は流れるがごとし、あつという間に思えた一年もコメ自由化問題、構造協議、北朝鮮問題、中東危機地価、株価暴落、原油価格上昇、即位の礼、大嘗祭等激動の年であった。

特に中東情勢については政治的和平が成立したとしても油有り、イスラム原理主義有り、アメリカの動不動に拘らずイスラエル対PLO、イラクによって、今世紀最後の中東戦争が引き起こされる可能性があるだろう。そうなれば石油、食料を始めとするあらゆる物に影響が出てくる。

加えて花見酒経済と言われる日本にも二日酔いの時期が始まる。庶民の生活防衛としては出費を抑え節約する事、それに鋸の目立ても必要になるかもしれない。くる年は厳しくなるのかもしれないが、木鐸である地区の皆さんに色々と教えて頂き、良き年としたいものだ。

来年もご無理な原稿依頼や御登場をお願いし、皆さんに愛される公民館行事、館報となるよう最大限の努力をし頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。

菅沼健司

6,500円コースが主流 まあまあの松茸の出に 来客も満たされる

松茸の出が心配された今年の松茸観光も、9月に入ってから雨に救われ、無事終了した。毎年の行事となった感のある観光事業だが、種々の問題もあるような事も聞く。来年への反省をしっかりと行い、区民の重荷とならない事を望む。

焼松茸が人気！ 区民の協力で無事終了

十月五日より始めました第十八回松茸観光も、十一月一日を以って終了しました。

この間、区委員の方々、常勤として勤めて頂いた婦人の皆様、部落長さんにお願ひして区民より応援して頂いた三十余名の方達と、茸類を始め、農産物等を出して頂いた七十余名の皆様、文字通り区を挙げての区民総参加であり、村の観光協会、浅井商店、御婦人の踊り等側面から協力を頂き深く感謝申し上げます。さて来客状況は、営業日



今年も盛況だった松茸観光

数が昨年より少ないが、一日平均では昨年位に達しました。メニューは今年は四段階を設けて対応しましたが、お客様の趣好は何と言っても味覚の王様松茸である為か、六千五百円コースが

抗ヶ会
地区対抗
力大

成績優秀第五分館

越野渡さん優秀賞に

十一月二十五日、豊丘まつりの催しの一つとして、第一回地区対抗カラオケ大会が福祉センターにて行われた。

当日は各分館や、会社、友人、知人らが応援にかけつけ拍手喝采、お花は飛ぶわで大変盛り上がった。

第五分館からは、先に行なわれた文化発表会で選ばれた、中宮の越野渡さんと駒沢の小椋美恵子さんが代表として参加し、得意の



熱唱する越野さん

喉を披露した。小椋さんは三番目に『酔いどれ』越野さんは七番目に『終着駅

は始発駅』を熱唱され、近所の奥さんからの花束と、飛んだお花の山を抱えて満足気であった。舞台の下では心配そうな小椋さんのだんなさん、越野さんの奥さんの姿が印象的であった。結果は、第五分館は実に成績が良く、越野渡さんが第二位の優秀賞、小椋さんが審査員特別賞と、二人とも入賞を果たした。

越野さんは、来年七月末に六ヶ町村が集まって行われる、『熱唱夏の祭典』に豊丘代表として出場も決定している。また頑張ってきてほしいものである。



これでもって ？万円

けつこう出たよ松茸 楽しかった一ヶ月



夏の暑さ、雨不足で心配された今年の松茸だったが、ふたをあけてみれば出始めは遅かったもののその後の雨で収穫量はほぼ平年並とか。ほっと胸をなでおろしたシーズンだった。

二年ぶりに落札起きたわが家だったが朝起きれば茸の話ばかり。空をみては「今年はだめかなあ」「雨が降れば」「苗取り程出た

多くなり、焼松茸の人氣も上々の様でした。

今年の夏の気候は異状でしたが、九月中旬より雨が多く、松茸の出足は遅れましたが、出方は順調で来客の希望が満たされたかと思ひます。

この事業は松茸が主役です。で、唐松峠まで広がる私有林、村有林、国有林に至るまでの松林から「香り」「味」「形」と三拍子整った日本一の松茸を採り、会場まで届けてお客様に提供出来ることこそ観光事業が長く続く第一であると思ひられます。

今年の反省面もあると思ひますが、これ等は改善し今より来年度の出発点として行きたいと存じます。

区長 久保田 芳美

おしくも全敗

―来年こそは―

去る十一月十四日に第三回夜間バレーボール大会が開催されました。開会式には十チームが出席し、みんな意気込んで我こそは優勝すると言う気持ちで一杯の様子でした。

第五分館は初めて出場すると言う事で、みなさんお仕事でお疲れの中、みんな協力し合って試合に望みました。

十四日の日は第二試合ではやしチームとあたりました。ぶっ付け本番でしたので、すごく緊張しました。サーブ・レシーブもなかなか思う通りに体が動かず二対〇で負けてしまいました。

私は二試合参加させていただけました。おしくも全敗でしたが、みんな協力し合い一人一人が自分の役割をきちんと果たし選手全員がひとつとなり全力投球出来て良かったと思います。

西元 ゆかり

ら困まるなあ。どちらにしろんでもこの一ヶ月間話題にことかかなかった。朝、ねむいにもかかわらず飛び起き、そろそろあそこに出ているはずだがと期待に胸をときめかせ車に乗る自分に、よくもまあはりきれものだとあきれれる。

松茸には何とも知れない不思議な魅力がある。今日は私が明日は俺が、そんなに出ているはずもない。家中ニヤニヤしていた毎日だった。

武田 陽二